

令和6年度 横浜氷取沢高等学校姉妹校交流（大韓民国）の取組み

1. 令和5年度までの取組み

本校は平成25年7月に大韓民国京畿道始興市（シフン市）にある始興陵谷高等学校（シフンヌンゴク高等学校）と姉妹校協定を結び、交流を続けてきた。

令和元年までは、7月上旬に本校生徒が始興陵谷高等学校を訪問し、4日間の日程でホームステイをして、学校での体験授業などに参加していた。また、12月に始興陵谷高等学校の生徒が来校し、同じくホームステイをして、本校での体験授業に参加するだけでなく、鎌倉での校外学習等を行っていた。

令和2年度から4年度までは新型コロナウイルス感染症が拡大したため、ホームステイをメインとする相互訪問による交流を一時停止し、オンライン会議システム（Zoom）を使用したオンラインによる交流を行った。令和5年度に相互交流が再開した。

2. 令和6年度の取組み

（1）概要

取組時期	内容
4月中旬	・生徒向けの説明会実施、募集開始
5月中旬	・書類選考・面接
6月13日	・オンライン交流
7月4日	・オンライン交流
7月中旬	・韓国語講習会（～8月中旬）
8月20日	・始興陵谷高等学校訪問（～8月23日）
12月18日	・始興陵谷高等学校来校（～12月20日）

（2）韓国姉妹校訪問

本校から始興陵谷高等学校への訪問についての詳細は次のとおりである。

- ・本校の参加者：1年生6名、2年生7名、3年生6名（計19名）
- ・始興陵谷高等学校のバディホームステイ受入生徒：21名
- ・詳細

日付	時間	内容
8月20日 (火)	午前 午後 夕	・東京国際空港（羽田空港）から空路で韓国の金浦空港に到着 ・ソウル市内の昌徳宮などの見学 ・ソウル市内のホテルに宿泊
8月21日 (水)	午前	・バスで始興陵谷高等学校に移動 ・始興陵谷高等学校で次の行事などを行った ・対面式（始興陵谷高等学教頭の挨拶、坪内校長の挨拶、両校生

		徒代表の挨拶)
8月21日 (水)	午前	・体育(レクリエーション・K-POPダンス)の授業に参加 ・音楽(AIを使って作曲)の授業に参加 ・伝統文化の授業(チャングの演奏)に参加
	昼	・学食にて給食
	午後	・外国語(韓国語・日本語・英語・中国語)の授業に参加 ・伝統工芸品の作成 ・歓迎式
	夕	・ホームステイ先に分かれて分宿
8月22日 (木)	午前	・蓮の池テーマパークの見学(始興の自然) ・オイドの見学(始興の文化)
	昼	・韓国の伝統的料理
	午後	・生態公園で班別活動(始興の伝統)
	夕	・ホームステイ先に分かれて分宿
8月23日 (金)	午前	・送別式 ・ソウル市内へ移動
	午後	・ソウル市内での班別自主行動
	夕	・金浦空港から空路で東京国際空港(羽田空港)に到着

(3) 韓国姉妹校の来校

本校への始興陵谷高等学校の訪問についての詳細は次のとおりである。

- ・バディホームステイ受入生徒：1年生6名、2年生9名、3年生6名(計21名)
- ・始興陵谷高等学校の参加者：21名
- ・詳細

日付	時間	内容
12月18日 (水)	午前	・バディ生徒による歓迎会とオリエンテーション ・授業への参加(国語、数学、英語、家庭ほか) ・歓迎会(各校校長・生徒代表挨拶、学校紹介、ダンス) ・国際交流委員との交流会
	午後	・日本の文化体験(茶道) ・記念品の制作(フォトフレーム作り)
	夕	・ホームステイ先に分かれて分宿
12月19日 (木)	午前	・江ノ島の散策
	昼	・日本食レストラン
	午後	・鎌倉市内の散策
	夕	・ホームステイ先に分かれて分宿

12月20日 (金)	午前	・送迎会（両校校長・生徒代表の挨拶）
---------------	----	--------------------

5. 韓国交流委員の感想（抜粋）

◆生徒A【3年生】

韓国では授業を受け、ホームステイをして、楽しみながら過ごすことができました。また仲が深まる活動が多く、言葉が通じなくても自然に仲良くなることができました。観光しながらお互いの文化に触れることができ、旅行ではできない経験をたくさんできました。学校では韓国の高校生が話しかけてくれて、たくさん友達を作ることができました。異国での不安がなくなる程、みんな優しく接してくれたので安心して韓国で過ごすことができました。

今回の国際交流を通して、韓国語の力を伸ばすことができたと思います。そして韓国で過ごしなが、日本とは違う文化を見つけることができ、楽しかったです。短い時間だけど、とても中身の濃い時間を過ごすことができました。

◆生徒B【3年生】

交流を通して、言葉の壁を越えたコミュニケーションはとても難しいと感じました。でも母国語ではないものを使いながら、ジェスチャーと表情で感情をくみ取って交流することができて本当に楽しかったです。やはり喋れないことは悔しいので、もっと勉強しようという気持ちにもなりました。次みんなに会う時は、絶対もっと喋れるようになって交流ができたらいいなと思っています。

◆生徒C【3年生】

私は高校3年間、交流に参加しました。1年目はコロナのため、オンラインでの交流でしたが、2・3年目は実際に韓国に行って、たくさんの韓国の友達とコミュニケーションをとることができました。住んでいる国は違っても、同じ話題で盛り上がり、同じ音楽を歌ったりすることがとても楽しかったです。韓国語もどんどん上達して、本当に色々な話ことができました。

3. 今後の展望

令和5年度から相互訪問を再開することができ、令和6年度もこれを継続することができた。また今年度の来校時には1・2年生全体で歓迎会をすることができ、交流委員を含めバディ生徒以外の生徒とも交流する機会を設けることができた。参加した生徒を中心に、本校生徒たちは韓国に対する理解が深まり、新たな見識を広げることができたため、大変有意義な活動であった。

令和7年度以降も、引き続き相互訪問を実施して、日韓の友好を深めていきたい。